

## 企業振興課

### (1) 地域経済全般

#### ア 中小企業指導団体助成事業

中小企業振興条例第5条に基づき、中小企業者及び事業協同組合等の総合的な向上改善と育成に努めている指導団体が行う事業に対し、事業量等を考慮して助成金を交付する。

[助成金の年度別推移]

(単位：千円)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
鹿児島商工会議所	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400
かごしま市商工会	—	—	—	—	10,500
谷山商工会	3,400	3,400	3,400	3,400	—
吉田町商工会	1,500	1,500	1,500	1,500	—
桜島町商工会	1,300	1,300	1,300	1,300	—
喜入町商工会	1,500	1,500	1,500	1,500	—
松元町商工会	1,600	1,600	1,600	1,600	—
郡山町商工会	1,200	1,200	1,200	1,200	—
鹿児島県中小企業団体中央会	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
鹿児島県商店街振興組合連合会	200	200	200	200	200
一般社団法人鹿児島市商店街連盟	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
(社)鹿児島県工業倶楽部	200	200	200	200	200

※23年度については、予算額

※かごしま市商工会は、平成23年4月1日に6商工会が合併し設立。

#### イ 新事業創出・販路開拓支援事業

新規創業者によるビジネスアイデアの事業化に対して支援を行うとともに、新商品の販路開拓や市内中小企業と大学等との連携による新商品の開発に対する支援を行い、新規創業や経営革新に取り組む中小企業者を育成する。

#### ウ 新規創業者等育成支援事業

インキュベーション・マネージャーを配置し、ソフトプラザかごしま及びソーホーかごしま入居者等に対する経営・販路面のアドバイスなど成長のための支援や、新規創業者等に対する育成支援を行う。また、SOHO支援イベントや創業セミナー等の開催を行う。

## エ 中小企業情報化促進事業

本市中小企業の情報化を促進するため、ソフトプラザかごしまにおいて、情報提供コーナーの運営、情報化セミナー等の開催、中小企業と入居企業との交流促進を行う。

〔図書・ビデオ貸出し件数〕

(単位：件)

	19年度	20年度	21年度	22年度
貸出し件数	557	383	479	439

〔セミナー開催状況〕

	19年度	20年度	21年度	22年度
セミナー回数	12回	11回	9回	8回
延べ受講者数	347人	449人	338人	349人

## オ 中小企業異業種交流支援事業

中小企業の経営基盤の強化や新分野への事業展開を促進するため、異業種交流グループを組織し、講演会や勉強会を通じた交流活動を支援する。

## カ 新産業創出支援事業

本市の将来を牽引する新たな産業を創出するため、産学官で構成する新産業創出研究会を設置し、本市特性等を生かしたビジネスモデルや推進方策の検討を行うなど、新産業創出に向けた企業等の取組みを促進する。

## キ ソーシャルビジネス促進事業

ソーシャルビジネスに関するセミナー等の開催により、市民や企業等のソーシャルビジネスへの理解と関心を深め、事業者が活動しやすい事業環境の醸成、担い手の育成を図るとともに、アドバイザーの派遣等により事業者を育成・支援し、ソーシャルビジネスの成長を促進する。

## ク 鹿児島市商工業振興プラン推進事業

鹿児島市商工業振興プランに掲げた施策の実施状況や成果指標の達成状況等を報告し、施策の見直しや新たな施策展開等について意見・提案をいただく推進会議を設置し、プランの着実な推進を図る。

(2) 商業・サービス業の振興

ア 共同施設設置事業に対する助成

事業協同組合等が構成員の事業共同化のための共同施設又は一般公衆の利便に寄与する共同施設を設置した場合に、1事業1億円を限度に助成する。

- ・ 助成額：事業費ごとに区分した助成率を事業費に乗じて得た額の合計  
(助成率は、共同施設の種類、国・県の補助金の有無により異なる)

[共同施設]

	19年度	20年度	21年度	22年度
実施団体数	2団体	1団体	1団体	4団体
助成金額	38,474千円	100,000千円	2,006千円	17,578千円

イ 商店街活性化ソフト対策支援事業

個性的で魅力ある商店街づくりを推進し、商店街の活性化を図るためのソフト事業を実施する商店街に対し、その経費の一部を助成する。

- ・ 助成メニュー
  - ①C I 戦略推進事業 (グッズ作成に対する助成)
  - ②明るい商店街づくり推進事業 (街路灯の電気料に対する助成)
  - ③商店街等交流活性化事業

[各事業の実績]

		19年度	20年度	21年度	22年度
C I 戦略推進事業	実施団体	13団体	9団体	17団体	20団体
	助成金額	2,642千円	2,336千円	3,456千円	3,964千円
明るい商店街づくり 推進事業	実施団体	74団体	74団体	73団体	72団体
	助成金額	10,463千円	10,853千円	11,012千円	10,228千円
商店街等交流活性化 事業	実施団体	13団体	13団体	11団体	9団体
	助成金額	2,972千円	2,933千円	2,660千円	2,202千円

ウ 桜島降灰対策助成事業

桜島爆発による降灰から快適な都市環境と美観を守るため、次の事業を行う。

(ア) 降灰除去機購入に対する助成

商店街が降灰除去機を購入した場合、1台につき購入費の1/2に相当する額で、5万円を限度に助成する。

(イ) アーケード降灰除去事業に対する助成

商店街がアーケードの降灰除去事業を実施した場合、経費の1/2に相当する

額で、1回あたり20万円を限度に助成する。

(助成回数は、1商店街につき1会計年度3回まで)

(ウ) 降灰の収集用克灰袋の配布

商店街に降灰の収集用克灰袋を配布する。

[各事業の実績]

		19年度	20年度	21年度	22年度
克灰袋の 配布	団体数	1団体	0団体	18団体	39団体
	配布枚数	50枚	0枚	3,280枚	6,160枚
アーケード 降灰除去事 業補助金	団体数	0団体	2団体	6団体	7団体
	助成金額	0千円	155千円	871千円	707千円
降灰除去機 補助金	団体数	0団体	0団体	0団体	0団体
	助成金額	0千円	0千円	0千円	0千円

エ 元気の出る中小企業支援事業

市内の商店街や商工業の事業協同組合、中小企業者で組織するグループが自主的に開催する研修会活動等に対し講師を派遣し、その活動を側面から支援する。

[事業実績]

		19年度	20年度	21年度	22年度
講師派遣	団体数	12団体	10団体	5団体	12団体
	講座回数	26回	23回	5回	21回

オ 街なか空き店舗活用事業

中心市街地内の空き店舗を活用したテナントミックス事業やチャレンジショップ事業を行う商店街等を支援することにより、空き店舗を解消し、魅力ある商店街づくりの創出に寄与する。

[テナントミックス事業実績]

	19年度	20年度	21年度	22年度
実施団体数	1団体	2団体	1団体	1団体
店舗数	3事業所	5事業所	6事業所	9事業所
助成金額	3,089千円	4,824千円	6,860千円	5,531千円

カ 頑張る商店街支援事業

商店街の活性化を図るため、商店街等が提案する独自のアイデアや創意工夫による取組みに対して助成する。

〔事業実績〕

	19年度	20年度	21年度	22年度
実施団体数	4団体	10団体	12団体	14団体
助成金額	8,392千円	10,166千円	11,512千円	13,682千円

キ 東千石町19番街区整備事業

東千石町19番街区の市の換地取得地を活用し、いづろ・天文館地区の新たなにぎわい創出の拠点とするため、民間事業者が行う商業施設((仮称)天文館シネマ)の整備について助成を行う。

ク 地域密着店連携支援モデル事業

近隣型等の商店街において、業種が異なる中小店舗等の連携を促進し、各店舗の強みを生かして、地域の消費者への生活提案等を一体的に行う取組を支援することにより、商店街の強化、再生につなげる。

ケ 地域繁盛店づくり支援事業

実践的なセミナーと店舗での指導を組み合わせた研修会を開催し、地域商業をリードしていく人材を育成することにより、商店街全体の活性化につなげる。

コ ソフトプラザかごしまの管理運営

情報関連産業の育成・支援を図るための拠点施設「ソフトプラザかごしま」の管理運営を行い、市内情報関連企業の育成、情報関連企業の誘致並びに本市中小企業の情報化を促進し、地域経済全体の活性化、雇用の創出を図る。

〔ソフトプラザかごしま施設概要〕

入居用施設、展示会議室、情報提供コーナー、商談コーナー等

〔情報提供コーナー利用者数〕

(単位：人)

	19年度	20年度	21年度	22年度
利用者数	2,898	3,230	3,231	3,127

サ ソーホーかごしまの管理運営

SOHO事業者を育成・支援するための拠点施設「ソーホーかごしま」の管理運営を行うことにより、新規創業やベンチャービジネスの展開を促進し、地域経済の活性化を図る。

〔交流サロン利用者数〕

(単位：人)

	19年度	20年度	21年度	22年度
利用者数	5,850	5,849	4,821	4,392

### シ にぎわい商店街づくり支援事業

市内の商店街に対し、各種調査や現場診断などを通じた商店街活性化のための、提言・指導を行うとともに、その提言等を基に商店街が自主的に行う商店街づくり計画策定を支援する。

### ス 組織化に対する助成

中小企業振興条例第6条に基づき、中小企業者が法人である事業協同組合等を組織した場合に、1法人あたり10万円を限度に助成する。

- ・ 助成額：50,000円＋2,000円×（構成員数）

#### 〔事業実績〕

	19年度	20年度	21年度	22年度
団体数	1団体	1団体	0団体	0団体
助成金額	74千円	58千円	0千円	0千円

## (3) 工業の振興

### ア 共同施設設置事業に対する助成【再掲】

事業協同組合等が構成員の事業共同化のための共同施設又は一般公衆の利便に寄与する共同施設を設置した場合に、1事業1億円を限度に助成する。

- ・ 助成額：事業費ごとに区分した助成率を事業費に乗じて得た額の合計  
(助成率は、共同施設の種類、国・県の補助金の有無により異なる)

### イ 南国鹿児島の特産品と観光展開催事業

神戸市、福岡市において、本市の特産品を展示販売するとともに、観光資源を広く紹介宣伝することにより、特産品の販路拡大及び観光客の誘致を図る。

#### 〔売上実績〕

(単位：千円)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
神戸展	45,698	54,017	51,451	45,957	51,395
福岡展	—	56,228	45,450	50,301	62,902

### ウ 伝統的工芸産業の活路開拓支援事業

本場大島紬織物協同組合等が行う活路開拓のためのイベント等に対して助成し、その振興を図る。

### エ 特産品宣伝事業

本市の特産品を紹介・宣伝し、販路拡大を図るため、特産品ガイドブックを作成・

配布する。

**オ 製造業アドバイザー派遣事業**

製造業者や製造業グループからの指導依頼に応じて、技術、デザイン、販路、経営等の専門家（アドバイザー）を派遣し、専門的立場から指導することにより、企業の経営力及び技術力等の向上を図る。

〔派遣実績〕

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
企業数	22社	15社	16社	16社	11社
回数	30回	24回	26回	20回	30回

**カ 特産品コンクール開催事業**

県内の製造業者を対象に、特産品を募集し、優秀商品を表彰するとともに、入賞商品等を県内外で展示販売し、特産品のPRと販路の拡大を図る。

**キ 伝統的工芸産業の振興**

市内の伝統的工芸産業（大島紬・竹）業者の作業の場として、大島紬締機センター、大島紬のり張りセンター、竹産業振興センターの管理運営を行い、本場大島紬産業、竹産業の振興・育成を図る。

〔利用実績〕

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
大島紬締機センター	11,238人	8,474人	6,856人	5,905人	5,536人
のり張りセンター	1,562件	1,219件	960件	708件	681件
竹産業振興センター	4,535人	4,801人	4,888人	5,604人	5,944人

**ク 竹工芸マイスター養成講座**

市民を対象に、竹編み等の技術の習得を目的とした竹工芸マイスター養成講座を開催し、竹工芸技術の継承と市民の竹製品に対する理解を深める。

〔竹工芸マイスター修了者数〕

（単位：人）

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
初級	25	28	27	30	29
中級	17	23	18	20	26
上級	9	17	22	11	19
計	51	68	67	61	74

**ケ 元気の出る中小企業支援事業【再掲】**

市内の商店街や商工業の事業協同組合、中小企業者で組織するグループが自主的に開催する研修会活動等に対し講師を派遣し、その活動を側面から支援する。

**コ 「観光と特産品の情報ステーション」運営事業**

本市、鹿児島商工会議所及び鹿児島観光コンベンション協会が共同で、鹿児島商工会議所ビル1階において「観光と特産品の情報ステーション」を運営し、観光客や市民に対して特産品の展示や観光と物産に関する情報の提供を行うことにより、特産品の販路拡大と観光資源のPRを図る。

[利用実績] (単位：人)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
利用者数	33,835	38,509	37,101	33,456	27,767

**サ 大島紬アンテナショップ運営事業**

本場大島紬に関する情報発信を行いその消費の拡大と業界の活性化を図るため、多くの市民や観光客が訪れる中心市街地において、「本場大島紬アンテナショップ織姫館」を運営する。

[来館実績] (単位：人)

	21年度	22年度
来館者数	8,676	13,045

※平成21年9月5日オープン

**シ 三市連携地場企業販路拡大推進事業**

福岡市、熊本市との交流連携協定に基づき、三市が連携して建築関連専門展示会への出展、合同商談会の開催などに取り組むことにより、市内中小企業者の商品の販路拡大を図る。

**ス 組織化に対する助成【再掲】**

中小企業振興条例第6条に基づき、中小企業者が法人である事業協同組合等を組織した場合に、1法人あたり10万円を限度に助成する。

・助成額：50,000円＋2,000円×(構成員数)



#### (4) 貿易の振興

##### ア 日本貿易振興機構鹿児島貿易情報センター助成事業

本市の貿易及び経済の振興を図るため、同センターが行う貿易・経済情報の収集、貿易相談事業、貿易研修等の事業に対して助成する。

[助成額]

(単位：千円)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
助成額	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300

※23年度については、予算額

##### イ 貿易関係団体に対する負担金

[各種団体への負担金]

(単位：千円)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
(公財) 日本関税協会	48	48	48	48	48
鹿児島港利用促進協議会	286	286	286	286	286
(社) 鹿児島県貿易協会	300	300	300	300	300

※23年度については、予算額

#### (5) 鉱害の防止

##### ア 休廃止鉱山鉱害防止事業

旧錫山鉱山の大切坑口から流出する坑水を適正に処理することにより、周辺住民及び下流住民の生活環境を保全する。